

2020
3
March Vol.48

JALまねびより

今月の特集 島根のいいものの再発見!! 「美郷町 野菜苗」 島根おまち地区本部



Xaomichi





島根には誇れる農産品がたーっさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

美郷町 野菜苗

3月は、島根おち地区本部。美郷町で野菜苗作りに取り組む樋ヶ隆行さんにお話を伺ってきました。

島根県の中央に位置する邑智郡美郷町。山々に囲まれた自然豊かなこの地に樋ヶさんが代表を務める小松地農園があります。樋ヶさんの実家は元々専業農家でしたが、本人は農業を継ごうとは思っていませんでした。高校卒業後は都会へ出て就職することに。主に自動車関係の仕事をしていたのですが、段々と「自分は長男なのに都会に出させてもらっている」と引け目を感じるようになり、7年前に美郷町へUターンすることを決意。農業をやろうという考えはなく、帰ってから仕事を探そうと思っていたところ、

タイミングが重なり、 農業を開始



お話を伺った樋ヶ隆行さん。

当初から主力として栽培しているのは切り花です。トルコギキョウ、スプレーストック、ヒマワリをメインに出荷しています。樋ヶさんは本格的に農業をやるのはこの時が初めてで、詳しい知識もありませんでしたが、立ち上げの仲間が今まで農業を勉強していたこともあり、頼りにしながら花の栽培に取り組んでいました。ところが、数年後にその仲間が県外へ移住することになり。突然一人になった樋ヶさん。戸惑いながらも、「なんとかやるしかない」という思いで突き進んでいくことに。県の指導員や周りの先輩

切り花栽培で 土台を固める

ちょうど帰ってきたタイミングでハウスの事業を立ち上げる話が舞い込んできました。その時、ある若者がここで農業をしたいと希望していたため、樋ヶさんの父親が組合長を務めている営農組合が雇用し花卉栽培を始めることになったのです。その際にもう一人くらい人手が欲しいという声があり、ちょうど良いタイミングで樋ヶさんが手伝うことになりました。

農家に聞きながらやり方を覚えていきました。「隣の川本町に島根県の普及員がいるので何かあれば飛んで来てくれますし、JAにも色々教えてもらっています。何でも教えてもらえるので、おかげさまでとても心強いです」と語る樋ヶさん。農家が困っていればすぐに相談できる体制に助けられています。また、自分から講習会に参加したりと積極的に学ぶ姿勢もあり、樋ヶさん自身もどんどん農業の知識を蓄えて成長できているそう。

野菜苗栽培も始めること で年間通して利益を出せる体制に

こうして、周りの人々に助けってもらいながら徐々に作業



ハウス一面にスプレーストックの花が咲き誇る。

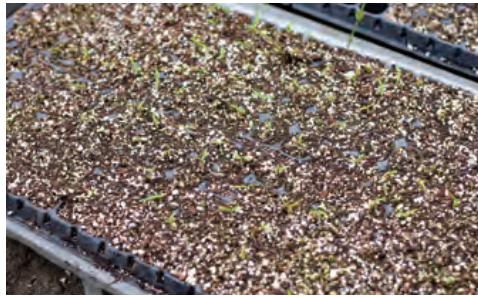


育苗用のハウス施設。自動灌水機も完備されている。

に慣れていく毎日。現在はパートさんの手を借りながら農園を経営しています。そんな中、JAが野菜苗を育てる農家を探すことになり、小松地農園がその候補に挙がりました。その理由は、花の育苗用に自動灌水の機械がすでに設置されていて、初期費用の必要がなかったこと。さらに、メインで栽培している切り花のピークとずれているからでした。また、樋ヶさん自身も比較的手の空いている冬の時期に何かの収入があれば助かると思っていたところでした。それらの条件も重なり、2年前からナス、ピーマン、ミニトマトなどの野菜苗を栽培することになりました。苗は通常、冬〜春先の間に



ナスの苗。病気が出ないように細心の注意を払う。



ハウスには暖房設備がついていないため、ほぼ外気と同じくらいの気温。寒すぎると発芽にも影響する。

種蒔きをします。毎年1月の初め頃から種を蒔いていますが、寒すぎて発芽しにくいということが判明。3年目を迎える今年からはもう少し暖かくなつた頃から種を蒔くよう変更しました。毎年変わる気候を考慮し、JAに相談しながら状況に応じて計画を立て直します。

て直します。

基本的な作業は、培養土に種を蒔き、芽が出てしばらくしたらひとつずつポットに植え替え。大量のポット苗の成長を丁寧に見ながら、水や肥料を撒き管理していきます。苗といっても、病気とは隣り合わせ。虫食いにも注意が必要です。そういう場合にもすぐ対処できるような毎日こまめに状態をチェックすることが大事だといえます。

農業は人に喜んでもらえる一番良い仕事

手探りで始めた苗栽培も徐々に慣れていき、今年は数を増やして8,000ポットを出荷する予定。「ハウスの場所に余裕があったのでできる限り増やしていきたい」と

意気込みを語る樋ヶさん。実は帰ってきた当初はギリギリまで農業をやるか迷っていたが、いざやってみて数年経つと「良い仕事だなあ」と感じるように。「花をプレゼントすると相手にとっても喜ばれます。それが嬉しくて」と笑顔を見せる樋ヶさん。今では、自分が一生懸命作ったもので人が喜んでくれることにやりがいを感じ、今までやってきた仕事の中で一番良い仕事だと思っているそう。また、当初何もわからなかった自分に色々世話をしてくれた営

農組合のおかげで今があると感謝しています。今後はできるだけ利益を出せる体制を整えていき、それに伴い農業を志す若い人を雇用していきたいと考え。「農業をやりたいたいという若者の受け皿になって、農業の大切さを伝えていきたい」と今後の抱負を力強く語ってくれました。



灌水ムラ（乾いたところ）がないかなど、ひとつずつ丁寧に苗の状態をチェックする樋ヶさん。

野菜苗

一口メモ

比較的栽培しやすいと言われる野菜苗。計画性があり、安定した収入が見込めるのが魅力。また、種蒔きから苗が育つまでの期間が短いため、他の作物に比べ規格外などのロスが出にくいのも特徴。最近は家庭菜園をする家が増えてきているため、手軽に生育できる野菜苗の需要は高まっています。今までは他の地域で栽培された苗が並ぶことが多かったホームセンターですが、その場合、土や気候が合わず枯れてしまうこともあり、近年は地元産の苗を取り扱う店が多くなりました。



産直市みずほ



産直スタッフの佐々本さん（左）と森岡さん

産直へようこそ!!

可成り産直が盛んな地域の特産品「山くじら」も
 島根県内の産直店舗を「紹介」します。



邑南町の山あいに、県内外から多くの人を訪れる産直がある。道の駅瑞穂に併設された「産直市みずほ」だ。平成16年10月にオープンしたこの産直は、山陰と山陽の中間地点で広島市からも1時間という立地もあり地元以外での利用も多く、特に週末は町外の買い物客で賑わっている。

約380人の出荷者組合員から毎日出荷される農産物は、その鮮度に自信あり。一人ひとり少量ながらも、多くの生産者から出荷されることで、1年を通して豊富な種類と量の農産物が店内に並ぶ。夏場は特に充実し、店舗内はもちろん店舗前のスペースをフル活用しても並びきらないことがあるとか。

たくさんの農産物を扱う同産直だが、特に力を入れているのは安全・安心な商品の提供だ。その取り組みの一つとして、店内の商品



農産物に貼られたQRコードは安全・安心の証



ご当地名物「山くじら」も販売しています

ターで生産者を紹介している。「目指しているのは顔の見える直売所。生産者の皆さんが育てた安全・安心な農産物を、自信を持って提供したい」と道の駅の田中宏樹駅長は話す。

3月からは毎年人気の苗物が並び、上質な苗を求めて遠方から多くの人を訪れる。また地元で手作りされる寿司などのお惣菜や田舎みそをはじめとした加工品も、季節を問わず人気の売れ筋商品。

1ターで就農した生産者など新たな出荷者も徐々に増えている「産直市みずほ」は、今後の展開が楽しみな産直だ。



並んだ顔写真はどれも誇らしげな表情です



人気の苗物は3月～4月にかけて最盛期を迎える

一つ一つにQRコードを貼っている。利用者は店舗内の端末や自分のスマホでQRコードを読み取ることで、肥料や農薬の使用履歴などを閲覧することができる仕組みだ。また店内では顔写真やモニ



店名：産直市みずほ
 所在地：島根県邑智郡邑南町下田所260-3
 (道の駅瑞穂内)
 TEL：0855-83-1217
 営業時間：9:00～18:00
 定休日：年中無休 (1/1、2は休み)

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

益田市の国営開発地でぶどう栽培する森原孝さん(44)は、就農して6年目を迎えようとしています。

森原さんは益田市内で会社員を経て自営就農を決意。就農に向けた研修期間中に、現在ぶどう部会検査部長を務める竹内直実さん(44)からぶどう栽培の基礎を学びました。

就農後には、国・県の補助事業とJAしまね農業振興支援事業の新規就農者整備支援を導入し、ぶどう用連棟パイプハウスと雨除けハウス、ガス加温機等を整備しました。就農5年目の令和元年には就農初年度に植栽したデラウェアとシャインマスカットが成園を迎え、順調な経営を営んでいます。

平成28年からぶどう部会の青年部長に就任した森原さんは、今後の目標を「販売額2千万円を目標に、ほ場管理等を徹底し良質なぶどうを出荷していきたい」と掲げ、ぶどう産地を支える担い手として期待されています。

益田市 森原 孝さん



一所懸命 青年連盟

JAしまね出雲青年連盟

JAしまね出雲青年連盟は142名の農家盟友、JA職員盟友がおり、4支部(出雲・平田・大社・佐田)で構成されています。盟友同士の情報交換や食農教育、各種イベント出店など様々な活動の中で農業青年とJA職員の相互が刺激し合い、若い目線でJAや農業を考える場になっています。

出雲青年連盟本部の主な活動は、「ポリシーブック(青年部の政策集)の作成」「JA常勤役員との意見交換会の開催」「農業体験活動の実施」です。意見交換会は毎年行っており、各支部で取りまとめた意見や要望をJA常勤役員へ伝えることで、抱えている課題の共有や解決に繋がっています。農業体験活動は、今年は管内の特産であるぶどう(デラウェア)の収穫体験を行い、旬のぶどうを収穫し味わってもらうことで農業の大切さ、収穫への感謝を感じて頂きました。

今後も引き続き青年連盟活動を行いながら、盟友同士の交流ならびに地域農業活性化に繋がっていかうと思います。

意見交換会での意見・要望事項

- ・1ターンUターン就農者(新規)への支援について
- ・人事異動について
- ・食育活動に関する経費支援について
- ・委託受精師環境整備について



雲南

手縫いの帽子贈る活動 女性部が賛同し取り組み拡大

抗がん剤による脱毛で不安やストレスを抱えるがん患者に手縫いの帽子を贈る「島根タオル帽子の会」。JA雲南女性部は2月7日、同会の下井直美代表を地区本部に招き、タオル帽子を作りました。女性部の高橋美佐子部長は「帽子を選ぶひとときだけでも笑顔になってほしい」と話し、今後は各支部でも取り組み、活動の輪を広げる予定です。

帽子は同会を通じて出雲市の島根大学医学部附属病院がん相談支援センターに届けられ、要望があった県内の拠点病院にも渡ります。さまざまな色や柄の帽子があり、幅広い世代が楽しむことができ、下井さんは「手に取られた方に喜んでもらえるのもうれしくなる」と笑顔で話します。

同センターのがん相談員は「入院中や自宅で着用することで心地よく過ごせるほか、ファッションとして楽しむことで前向きな気持ちになれるのでは」と話しました。



タオル帽子作りを指導した下井さん（前列中央）と完成品を披露する女性部員ら

くにびき

サンサン女子大開講 フラワーアレンジメント講座

くにびきサンサン女子大は2月8日、教育文化センターSan・san館で、「バレンタインのフラワーアレンジメント講座」を開催し、プレゼント用のフラワーアレンジメントを作りました。学生31名が参加し、ガーベラやカーネーションを使ってそれぞれ個性ある作品を作りました。

当日は、JAグリーンかわつの職員が講師となり、上手く仕上げるコツとして、茎を短く切ると飾りやすくなることや、花の向きを見て挿すと見栄えがよくなることなどを説明。学生たちは、アドバイス通りに花を切ったり、配置したりするなどして、思い思いのフラワーアレンジメントを作り、最後にセロファンシートとリボンでラッピングして作品を完成させました。

学生は「花の切り方や挿し方などがとても参考になった」「ラッピングをして可愛く仕上がったのでプレゼントにしたい」などと語り、フラワーアレンジメントを楽しんだ様子でした。



完成したフラワーアレンジメント

隠岐

良質米を目指して研修会を開催

隠岐地区本部は2月19日、管内の水稻出荷者を対象に水稻稲作研修会を開催し、水稻生産者および関係者ら約30名が出席しました。研修では、JAしまね本店営農対策部の山本技官による隠岐地域の特性に合った栽培方法について研修を行い、改めて良質米を作る上で重要となる作業・時期の確認をしていただき、併せて島根米の情勢等についてもお繋ぎをさせていただきました。また、島根県の農業普及員より「きぬむすめ」の実証実験報告なども行っていただきました。参加をされた生産者は、「良質米生産に意欲的に取り組みたい」と語っていました。



やすぎ

金芽米30名が当選！ 新春プレゼントクイズ抽選会

やすぎ地区本部は1月31日、「金芽米」が当たる新春プレゼントクイズの抽選会を行いました。クイズ正解者の中から伊藤精一本部長と(株)しまねトーヨーの渡邊健次代表取締役社長が抽選を行い、30名の方が当選され2月に商品を発送しました。

応募数は安来市内を中心に県内外から昨年を577通上回る2,016通あり、「金芽米」の認知度は年々上がってきています。「金芽米」は栄養と美味しさの両立を実現した健康志向のお米として注目を集めており、応募用紙には「食べたこと無いので食べてみたい」などの意見が多く、消費者からの期待も高まっています。

「金芽米」は安来管内のJA直売所や地元量販店で取り扱っており、伊藤本部長は「食べたことがない方は、ぜひ味わってほしい」と期待を込めました。



斐川

スポーツ学びのひろば 「バレーボール教室」開催

斐川地区本部は2月9日、出雲市立中部小学校で学びのひろば「バレーボール教室」を開催しました。町内のバレーボールスポーツ少年団に所属する男女46名を対象に、元全日本男子バレーボール監督の植田辰哉さんを招き、団員たちは基本動作の他、練習や試合に臨む心構えなどを学びました。植田さんは始めに「今はゴールデンエイジといって視覚や聴覚などの様々な感覚機能が発達する時期で、基礎を覚えることが重要。明日からでもすぐに実践できる練習を行う」と話し指導して頂きました。団員の一人は「レシーブのさばき方やスパイクの正確さが全く違った。一流の選手に教えてもらったことを練習でしっかり身に付けたい」と目を輝かせていました。練習終了後には、質問やサインを求める団員たちが植田さんの周りに集まり、楽しく交流しました。



隠岐
どうぜん

直売部会を開催 令和2年度に向け気持ち新たに

2月10日(月)に当地区本部西ノ島直売部会員による、令和2年度第1回直売部会が開催されました。午前中は、6回目となる「農産物持ち寄り会」が行われ、暖冬によってジャンボ大根となるなど栽培管理が難しかった中、丹精込めて栽培したキャベツ、ほうれん草、大根などの農産物が数多く持ち寄られました。

出席会員と関係者が“これは！”と思う逸品を2点選出・投票し、投票数の多い上位3品に「部会長賞・副部会長賞・地区本部長賞」の授与と副賞(肥料)が進呈されました。また、受賞者から栽培管理方法について説明があり、会員から活発な質問が出されるなど、有意義な持ち寄り会となりました。

J Aストア好評の、やきたて石焼き芋付の会員弁当屋食をはさみ、第7回西ノ島支店直売部会総会が開催され、令和元年度事業・決算報告、次年度事業・予算計画報告が承認されました。引き続き野菜作り講習、新食品表示説明、島外視察研修計画が話し合われ、「今年度も頑張ろう」と満足な部会となりました。



石見銀山

石見銀山農政会議農政懇談会

石見銀山農政会議は2月3日、大田市大田町の(有)大田市農林福祉会館パストラルで、農政懇談会を総勢106名の参加により盛大に開催しました。

石見銀山農政会議の田原洋司会長は「暖冬で春からの農作業に影響が出ないか心配している。本日の研修会を有意義なものにしていきたい」と語りました。

来賓として出席した楯野弘大田市長は「中山間地の維持等課題が山積している。引き続き農業の振興を図っていきたい」と話しました。

懇談会では日本農業新聞論説委員の細谷章氏が「国際化と日本農業の行方」と題して講演しました。

安倍晋三内閣の特徴や農政を取り巻く情勢、自民党内の農政構造など農政全般の話から、耕作放棄地の増加、農業就業人口の高齢化、減少など身近な話題まで多岐にわたる講演となりました。

中でも3月に見直しされる食料・農業・農村基本計画については国が何に焦点を当てて政策を展開していくかを注視する必要があると話しました。



講演する細谷氏

出雲

サンマッシュ全国大会開催 イ農ベルみだみが2回目の金賞受賞

「全国サンマッシュ生産協議会 第34回全国大会」が2月4日と5日、三重県桑名市で開かれました。大会中に行われた品評会では、J Aしまね出雲しいたけ部会の(株)イ農ベルみだみが金賞を受賞。同社は技術向上と出雲しいたけの品質PRを目的に、平成29年から毎年出品しています。金賞受賞は昨年に引き続き2回目で、ほかにも銀賞、銅賞、奨励賞と、すべての賞を同時受賞しました。

この大会は、菌床しいたけの生産者団体である「全国サンマッシュ協議会(北研)」が毎年開催し、全国から集まる生産者や関係者などに最新情報の提供などを行っています。品評会には全国から967点の出品があり、20点が金賞を受賞しました。



金賞を受賞した菌床しいたけ

西いわみ

無休眠栽培で冬にピオーネを収穫

益田市喜阿弥町の国営西部農地開発地でブドウを栽培する大石静夫さんが2月11日、無休眠栽培で育てた大粒系ブドウのピオーネを収穫しました。2月の収穫は県内で初めてであり、全国でも珍しいといわれています。無休眠栽培は大石さんにとっても初めてで、県農業普及員の指導も受け試行錯誤しながら栽培方法を研究しました。

ブドウは気温が15度以下になると休眠期に入る事から、10月以降はハウス内の温度を15度以下にならないように加温機の調節を行いました。

収穫したピオーネは色付きも良く糖度も20度以上と、小ぶりながらも味の濃い良質なブドウに仕上がりました。ピオーネは大粒系ブドウの混植ハウスを使って育てたもので、ハウス内には赤系品種やシャインマスカットがあり、シャインマスカットは3月中旬の収穫を予定しています。



島根
おおち

ケイトウ栽培講習会

島根おおち地区本部では、令和2年のケイトウ栽培講習会を開催しました。

ケイトウは、露地で栽培することができ、イノシシ・サルの被害がなく、栽培も比較的容易に取り組めることから、地区本部では、盆・彼岸の需要ピークに向けて9年前から女性部を中心に栽培を推奨しています。

講習会には、管内の生産者、女性部員が出席し、営農企画課、また各営農生活ブロックの指導員が病害虫の防除の徹底や生育を見ながらの液肥での追肥といった栽培でのポイントを説明し、ケイトウ栽培の作業スケジュールを確認しました。また、令和2年度には新たな種子を取り入れた栽培も計画しています。

今後、4月中旬から栽培が始まり、管内5箇所ケイトウの種まき講習会を開催します。



JAしまねびより
俳句・川柳コーナーが
始まります！

JAしまねびよりは、
皆様からの俳句・川柳
を募集します。
優秀句は5月号より誌
面でご紹介！
たくさんのご応募お待
ちしています。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキまたはFAXでご応募ください。

※1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。

※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。

※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1

JAしまねふれあい福祉課

「俳句の広場係」または「川柳の広場係」

FAX: 0852-35-9045



いわみ
中央

消費者交流会「焼き芋販売」でさつまいもをPR!

いわみ中央産直協議会浜田支部(松本昭二支部長)は2月20日、きんさい市場黒川店で「さつまいもの販売促進」を行いました。

この販売促進は、消費者交流会で「焼き芋」をテーマに取組み、来場者へ旬のさつまいもをPRする事を目的としたもので、日頃の感謝を込めてご奉仕価格でベニハルカ6kg、ヒメアヤカ18kgを販売しました。

販売は10時からでしたが多くの方に来店いただき、さつまいもが焼けるのが間に合わず20分~30分待ちと大変ご迷惑をお掛けしました。しかし、ほくほくの美味しい焼き芋を受け取ると来店者の顔がほころび、その顔をみるとこちらまで嬉しくなりました。販売促進は大好評で、11時30分には完売となりました。

店舗では、安全安心な農産物を生産者の方とともに提供して行きますので、是非お越しください!



タテのカギ

- ①ビニール——の中で作物を育てた
- ④ピッ、ピッ、ピッ、ポーン
- ⑦口紅を片仮名言葉でいうと
- ⑨メロンやズッキーニもこの仲間
- ⑩ハワイの代表的なビーチリゾート。ダイヤモンドヘッドが見えます
- ⑬視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のこと
- ⑱臭いために嫌われやすい昆虫
- ⑰国語、数学、——、社会
- ⑱ウナギの内臓を使って作る汁物
- ⑳菜の花の咲く頃に降る——梅雨
- ㉑土俵の上で戦います

ヨコのカギ

- ①冬が終わるとやって来ます
- ②羊やアルパカの毛のこと
- ③スナップエンドウの下処理の際に取る物
- ⑤掃き掃除をするときに使います
- ⑥欲しかった商品が——になっちゃった……残念
- ⑧瞬間——の蛇口から熱湯をくんだ
- ⑪契約書や伝票に押します
- ⑫ハトの形をした笛
- ⑬輪——、消し——、——手袋
- ⑮物の重さのこと
- ⑯選挙の立候補者が肩から掛けます
- ⑰木がたくさん生い茂っている所
- ⑲患者を診察する人

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7		12	14	17	21
2				15		
3			13			
	8	10			18	
4		11			19	22
5	9			16		
6					20	

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

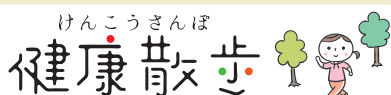
応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 総務課 「クイズ」係
2020年4月6日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ジンチョウゲ」

ヒ	シ	モ	チ	オ	バ
ヨ		ク	イ	ダ	オ
コ	ウ	ゲ	キ	ソ	ン
		イ	キ	コ	ウ
ヨ	ン		オ	ウ	ジ
ア	カ	シ	ヤ	キ	ヨ
ケ			ジ	ン	タイ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



ストレスと睡眠

JA島根厚生連

ストレスは、これまでも漠然と“体に悪い”というイメージがありましたが、実際に私たちの心身の健康をむしばむ恐れがあることがわかってきました。

ストレスがかかると「ストレスホルモン」というホルモンが臓器から分泌されます。そのホルモンが心拍数の増加や血圧の上昇など体にさまざまな影響を与え、その時の反応を「ストレス反応」と言います。ストレスの原因が1つであれば、反応は比較的治まりやすいものです。しかし複数の原因が重なってしまうと脳卒中や心筋梗塞など命に関わる病気に繋がりがかねません。また、その他にもじんましん、アレルギー、胃炎、頭痛、腰痛などさまざまな症状とストレスは関連しています。

☆「いつもと違う」がストレスのサイン！！

～体調や行動に「いつもと違う」ところがないかどうかをチェックしよう～

(体調)

- 眠れない、眠り過ぎる
- 食欲の減退や増加
- 疲れやすい
- 頭痛が頻繁に起こる
- かぜをひきやすい など

(行動)

- 集中力が低下する
- 休日明けは不調になる
- 口数が少なくなる
- あいさつができなくなる
- つきあいが悪くなる
- 細かいことにこだわり過ぎるようになる
- 飲酒量や酔い方が変化する
- 怒りっぽくなる など



ストレスの緩和には「良質な睡眠」を心がけましょう。ストレスと睡眠は密接に関わっており、ストレスがかかるとうまく寝つけなかったり、夜中に起きてしまうようになります。すると、脳が十分に休まず、脳の機能低下が起こってしまうのです。ストレスによる睡眠不足を解消するには、次のようなポイントを押さえて、良質な睡眠を心がけましょう。

●起きる時間を一定にする

起きる時刻が不規則だと、日の光を浴びるタイミングがずれて体内時計のリズムが乱れ、夜の寝つきが悪くなります。

●夜は“移行期”をつかってリラックスする

38～41℃のぬるめのお湯につかったり、眠れないときは無理に床に就くのではなく、音楽を聴いたり、本を読むなどしてリラックスします。

●昼寝する場合は2時間以内に

休日に長く寝たい場合でも、平日の起床時刻とのずれを2時間以内にします。朝には必ず、いったん起きて、軽く食事をとりましょう。どうしても眠い場合は、日中に2時間以内で昼寝をするとよいです。



びき地区本部 会」Q & A

令和元年度「集落座談会」を1月下旬から2月中旬にかけ120会場で行い、2,007名（内女性316名）の組合員の皆さまが出席され、多くの声を寄せていただきました。座談会で賜りましたご意見・ご要望につきましては十分検討し、今後のJA事業運営に反映させていただきます。今月号では、一部ですが主な意見・要望とその対応についてお知らせします。

営農経済部

Q 農業戦略実践3カ年営農計画で、JAしまね全体で農畜産物販売額を39億円伸ばすところがあるが、くにびき地区本部ではどのような取り組みを考えているのか。

A JAしまねでは園芸重点推進5品目（キャベツ・タマネギ・白ネギ・ミニトマト・アスパラガス）の振興や、和牛繁殖の拡大等により販売額の増大に取り組みます。くにびき地区本部では、県下全体での取り組みを進めるとともに、リースハウス事業を活用した施設園芸の拡大や、産直事業の振興にも積極的に取り組んでいます。

Q 管内でも新規就農者を希望する若者がいる。地域農業にとって貴重な存在であり、不安なことも多いと思うので、JAでしっかりと支援をお願いしたい。

A くにびき地区本部では令和元年9月に、新規就農支援係を設置し、関係機関とも連携して巡回による相談・指導や農業用施設の建設支援等に取り組んでいます。新規就農等の相談がありましたら、営農企画課新規就農支援係（551-3030）までご連絡ください。

Q 各地区で圃場整備事業が実施されており、今後実施予定の地域では、協議が行われているが、JAはどのような動きに対して、どのように関わっていくのか。

A 圃場整備事業により、集落営農組織を立ち上げて地域全体で農地を守り、営農を継続していく動きが盛んになっています。JAでも関係機関との連携により組織化や、圃場整備後の水稲・園芸作物の栽培等について支援を行っています。

Q 近年、有害鳥獣による被害が増加し困っているが、どこに相談すればいいのか。

A 松江市には、イノシシ、シカ、ヌートリア、アナグマなどの被害が報告されています。イノシシ被害対策で防護柵等を設置する場合には、松江市や農業共済の補助金制度もありますので、詳しくは松江市の農林基盤整備課（551-5245）へご相談ください。また、駆除の相談につきましても、同課へご相談ください。

Q ふれあい店の廃止により、営農関連文書の提出は旧ふれあい店のポストを介して行い、定期的にポストを確認すると説明があったが、どのくらいのペースで回収される予定なのか。

A 通常は週2回程度の回収予定ですが、米の出荷申込書については毎日回収する必要がありますので、方法について検討しお知らせします。

Q 令和元年度「きぬむすめ」は、収量が低かったが、全体の状況及び原因を教えてください。

A JAの集荷数量は全体で予約数

令和元年度くに 「集落座談」

ご意見・ご要望にお答えして

自己改革については？

機構改革については？

量を下回っており、収量は低い傾向でした。要因については出穂後の高温や、登熟期の日照不足等、気象による要因が大きいと考えています。

Q 集落営農組織でJAの施設を利用しているが、経費の中で施設利用料金（カントリー・育苗センター等）のウエイトが高く、更に料金が改定され高くなってきている。農家のため料金の引き下げは出来ないのか。

A JA全体での収益性が低下しており、営農経済事業についても収支改善が必要になっていきます。農業関連施設は恒常的な赤字を抱えており、事業の継続性の面から利用料金改定を行いましたので、ご理解いただきまますようお願いいたします。

Q 水田除草剤は何年も同じものを使い続けていると、雑草に抵抗性ができると聞いているが、大体何年ぐらいで変えたほうがいいのか。

A 圃場で発生の多い雑草に効果のある除草剤を、2〜3年のローテーションで使用ください。

Q 「出向く営農指導」について、対話を重視したJAの取り組みは共感できる。協同組合なので引き続き、組合員とJA職員の関係を強化していくべきだと考える。

A 今後も組合員の目線に立ち、生産現場での営農指導を強化し、組合員との関係性の向上に努めていきますのでよろしくお願いたします。

Q グリーンショップの時間変更や、定期配送について、ふれあい訪問日にチラシ全戸配布する等、周知を徹底してもらいたい。

A 営業時間変更や農繁期対応について整理し、店内のポスター掲示や、「しまねびより」等により周知いたします。定期配送は午前11時30分までに注文していただければ、翌営業日に配送します。配

送日は、月曜日から金曜日となります。ご注文はフリーダイヤル（0120-0701233）で受け付けております。

Q 中海干拓事業所とグリーンショップ東出雲が統合するとうことであるが、生産資材の販売はこれまで通り続けるのか。

A 今後も生産資材の供給は継続しますが、肥料・農薬を中心に取り扱い、現金での供給は行いませんのでご承知ください。

Q 生産資材の価格について、JAと量販店とを比較するとJAの方が高いものがある。少しでも安くなるよう検討してほしい。

A 定期的に量販店の価格調査を実施し、価格設定について検討しています。また、水稲予約資材では、JAの統合メリットを活かした統一銘柄への集約や、超大型規格の提案などの、生産コスト低減に取り組んでいます。

Q 共同購入での大型・中型トラクターの取り扱いをするとの事だが、他の農業機械はこの方法を考えていないのか。

A トラクター以外では、現在計画はありません。

生活福祉部

Q J Aの相続相談は予約制なのか。

A 相続相談に限らず、不動産の活用や売買、税務、法務等のご相談はいつでも承っております。資産相談センター（55-3040）へご連絡いただければ随時対応いたします。

Q 現在、灯油ボイラーを使用しているが、ガス給湯器への取り換えも検討している。ガスにした場合のランニングコストはどのくらいか。

A コスト等についての詳細は生

活燃料センター（36-9270）にお問い合わせください。また、ガス給湯器のレンタルも取り扱っており、その際のガス料金は安い単価設定となっております。

Q J A葬祭会館利用において、組合員メリットがあれば聞かせて欲しい。

A 組合員の方は、会館利用料と祭壇利用料を10%割引させていただいています。また、申込者が組合員の場合は、ご利用金額に応じてJ Aしまね総合ポイントを付与させていただきます。

金融共済部

Q 統括支店ができるということとであるが、くにびき地区本部独自のものなのか。

A 他地区本部も統一の機構改革のひとつです。

Q A T Mについて、将来廃止されるのか。

A J Aバンク（農林中央金庫）の方針は、「利用状況」や「採算性」などから一定の基準が設けられており、これにより検討することとなっております。今後ともより一層のA T M利用をお願いします。

Q 金融の窓口は、午後3時だと把握しているが、共済の方は何時まで対応をしてもらえるのか。

A 現金がかかわるものは、午後3時までですが、共済等の各種相談は午後5時までさせていただきます。

Q 自然災害による建物被害が頻繁に発生しているが、J A共済「建物更生共済」の掛金は高くなっているのか。

A 共済掛金の料率については、昨年度から変更はございません。

企画総務部

Q 機構改革の中に「3つの危機」とあるが、具体的にどういう危機か。

A 「農業・農村の危機」は高齢化による農業の担い手不足や、限界集落という言葉に代表されるように過疎化によって集落機能を維持していくことができないところが増えてきたこと。「組織・事業・経営の危機」はJ A自体の収支構造が悪化してきたことや、組織基盤が弱体化してきたこと。「協同組合の危機」は組合員構成の変化や意識の変化などのこと。これらを踏まえて自己改革に取り組んでいます。

Q ふれあい店の店舗の無人化は県下全体でされるのか。

A 他の地区本部は平成20年から閉鎖しています。当地区本部は今ままで継続して営業していました。

「第44回ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 乃木小6年生 石松祐さん【図画部門】で 農林水産大臣賞に輝く

農業協同組合と都道府県農業協同組合中央会、全国農業協同組合中央会が主催した「第44回ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールにおいて、松江市立乃木小学校6年生、石松祐さんの作品「田植え」が図画部門で最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しました。同コンクールは、これからの食や農、地域を担う子どもたちに、稲作をはじめとした農業やごはん食を中心とした日本食の大切さを広めることを目的に毎年開催。今回も、全国の小・中学校の児童・生徒から、作文部門で50,660点、図画部門で60,767点と、たくさん作品が寄せられました。



農林水産大臣賞を受賞した石松さん(中央)



授与式の様子

2月17日には当地区本部の栗原令本部長が乃木小学校を訪れ、表彰。
栗原本部長が「街中に田が少なくなっているなか、細かいところまでよく見て描けている」と感嘆し、石松さんは「影のつけ方や水が反射した部分などの色塗りを工夫した甲斐があった」と受賞の喜びを語りました。
※石松さんの作品は、「JAしまねくにびき地区本部令和2年版カレンダー」の4月に掲載されています。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



打ちたての蕎麦が完成



茹で上がった蕎麦を手に笑顔!

打ちたての蕎麦を試食した福島陽人さん(小4)は「こねるのに力がいり、大変だったけど、おいしく作ることができてよかった」と笑顔で話しました。
山根委員長は「農業に親しんでもらえるような活動を今後も続けていきたい」と意気込みました。

当日は、「八雲ふるさと館」の蕎麦道場のスタッフ4名を講師に招き、蕎麦の打ち方を教わりました。その後、昨年まいった種からできた蕎麦粉を使用し、蕎麦打ちに挑戦しました。慣れない作業に苦戦しながらも親子で協力し、蕎麦が完成しました。
打ちは、「八雲ふるさと館」の蕎麦道場のスタッフ4名を講師に招き、蕎麦の打ち方を教わりました。その後、昨年まいった種からできた蕎麦粉を使用し、蕎麦打ちに挑戦しました。慣れない作業に苦戦しながらも親子で協力し、蕎麦が完成しました。



慎重に蕎麦を切る参加者

八雲支店運営委員会(山根 盈樹 委員長)は2月22日、教育文化センターSan・san館で「蕎麦づくり体験」蕎麦

児童が蕎麦打ちを体験!
八雲支店運営委員会が食育活動



組んでいます。 ～くにびき地区本部の取り組み～

畑ほし柿生産組合が反省会実施 市場担当者との意見交換も

畑ほし柿生産組合（森廣護組合長）は2月21日、東出雲町の畑公会堂で「令和元年度産畑ほし柿反省会」を開催しました。組合員や市場担当者、関係者など約40名が参加し、市場の評価や販売実績などについて確認し、意見を交換しました。



意見を交換する組合員と市場担当者

今年度は、同組合が生産する「東出雲の畑ほし柿」が令和元年12月10日に鳥根県下で初めて、地理的表示（GI）保護制度に登録されるなど、飛躍が期待される年となりました。当日は、市場担当者が情勢について説明し、当地区本部の営農指導員が販売実績や生産販売状況について報告しました。

その後の意見交換では、富士本数産生産組合理事が「再生産価格と比較し、安価な傾向にある。生産意欲向上のためにも高値で扱っていただきたい」と提起。市場担当者は「高品質なものを安定して出荷していただくことで販路拡大につながり、再生産価格に近付けることができると回答しました。

反省会の様子



森廣紀元副組合長は「伝統を継承し、GI登録に恥じないよう高品質で安心安全な干し柿の生産に努めていく」と意気込みを語りました。令和元年度産は18万6千個出荷し、2,750万円を売り上げました。

良質米栽培に向け、研修会実施 40名が一等米目指し学ぶ



栽培管理方法を説明する野津課長

資材の紹介を通じて良質米を生産につなげ、所得の増大を目指そうと開催したもの。

当日は、米品質向上対策委員会のモデル圃場設置や各種情報提供などの取り組みや鳥根の土壌に適した土づくり肥料「田んぼの守」を紹介。また、コシヒカリ・きぬむすめ・つや姫の3種類を食べ比べ、食味を確認しました。その後、県農業技術センター技術普及部農産技術普及課の野津孝徳課長が「良質米生産に向けた栽培管理について」と題し、講演を開始。野津課長は「良質米生産には中干しは重要。やり方によっては逆効果になるので、圃場や苗の状況を把握し、中干しの程度を確認してほしい」と説明しました。

参加した山本整さん（28）は「毎年変わる気象条件に合わせて臨機応変に栽培管理し、良質米を生産していきたい」と意気込みました。



米を食べ比べ、食味を確認する参加者

農商工連携事業新商品 「たけのこの粕炊き煮」販売へ

上意東たけのこ生産組合と愛知県大口町の大和屋守口漬総本家「八幸八（はっこうや）」が2月20日、松江市役所を訪問し、松浦正敬市長に新商品「たけのこの粕炊き煮」の完成報告をしました。松江市と大口町は平成27年8月に姉妹都市を提携。同生産組合は、守口漬けで有名な同社へ2年前から約3トンのたけのこを出荷しています。

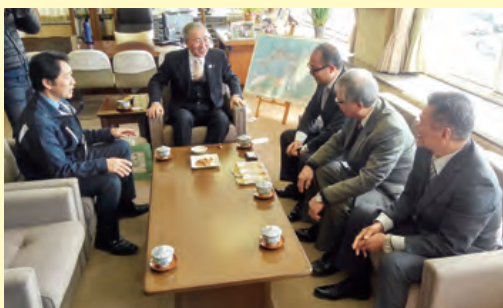


たけのこの粕炊き煮

「たけのこの粕炊き煮」は上意東産のたけのこを収穫後、新鮮さを維持したまま出荷し、うまみを引き立てる酒粕入りの発酵調味料と同社が独自に考案した製造方法で、風味と歯ごたえが存分に味わえる一品。6月頃から販売を開始する予定です。

当日は、同生産組合の森口和宣組合長、三島一成副組合長や同社の伊藤慎一課長ほかJAの担当者らが松浦市長に新商品について説明。森口組合長は「上意東産のたけのこは密度が濃く、甘みが強い。ぜひ味わってほしい」とPRしました。松浦市長は「地域全体で特産品の振興を目指して欲しい」とエールを送りました。

市長に報告する森口組合長ら



農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り

島根県知事と意見交換！ 地域農業の振興を目指す

松江市農政会議（上山根晴久会長）は2月17日、サンラポーむらくもで丸山達也島根県知事と「農政懇談会」を開催し、農業振興施策について意見交換を行いました。



意見交換会の様子

当日は、丸山知事をはじめ、島根県農林水産部や同農政会議、くにびき青年連盟、くにびき地区本部役員などから61名が出席。同農政会議の上山根会長や島根県農政会議の石倉茂美会長、当地区本部の栗原令本部長が挨拶した後、丸山知事が県内の農業政策について報告しました。

その後、「地域農業の現状と課題について」意見交換会を開始。同農政会議の勝田達雄委員（玉湯支部）が「美味しまね認証や美味しまね認証ゴルドの認知度を上げるためにPR強化をしてほしい」と提起。丸山知事は「認知度が低ければ所得に反映されない。PRを強化するとともに、認証を取得したことでの成功事例を作っていきたい」と回答しました。

上山根会長は「行政やJAと生産者が一体となり、地域農業を振興させるためにも、意見交換の場は重要。今後も、意見交換の場は共有していきたい」と話しました。



質問に回答する丸山知事（右から2人目）

その後、令和元年度の事業報告、収支決算について報告。さらに同2年度の事業計画と収支予算案も承認しました。また、役員の改選もあり、若林会長のほか4名の副会長が再任し、新たに青山嘉夫さん（かわつ支部）、竹内邦雄さん（しんじ支部）が副会長に選任されました。



挨拶する新役員

来年度は、さらに消費者に向けたPR活動に力を入れ、6億6千万円を売り上げ目標に掲げました。

出荷者協議会代議員総会 産直コーナーの充実誓う

くにびき農産物直売コーナー出荷者協議会（若林大徳会長）は2月21日、営農総合センターで「第22回代議員総会」を開催しました。



総会の様子

当日は、各支部の代議員総数69名のうち32名が出席（委任状21名）。総会の冒頭で若林会長は「若い世代が増えてきており、良い方向に向かっている。会員同士で協力し、持続的成長に向け、積極的に出荷していこう」と挨拶しました。

農機・自動車の合同展示会 各種車両が勢ぞろい！

くにびき地区本部は2月22、23日の両日、農機・自動車センターで春の合同展示会を開催。2日間で649名の組合員や地域住民が会場を訪れ、展示された農機や自動車の数々の中から品定めをしながら購入しました。



車の性能について説明する担当者

展示会は、日頃の感謝や利用者の拡大などを目的に、毎年3回開催しています。最新の農業機械や関連機械のほか、自動車販売会社などから新車や中古車、タイヤなどを展示し、夏用タイヤや刈払機刈刃などを2日間限りの特別価格で販売。また、プレゼント企画、フライドポテトやたまごの無料配布なども実施し、来場者をもてなしました。

来場者は「4月から新社会人になる息子と車を見に来た。親切に説明してくれてよかった」「新型の農機具もあり、買い替えの参考になった」と話しました。



農機具の説明を聞く来場者

来場者は「4月から新社会人になる息子と車を見に来た。親切に説明してくれてよかった」「新型の農機具もあり、買い替えの参考になった」と話しました。

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



大豆ハンバーグ

鹿島町の講武地区では1月から2月にかけて味噌を作ります。今回は味噌作りにも使用する水煮大豆を使ったハンバーグを紹介します。市販の水煮大豆でも簡単にでき、ボリュームたっぷり子どもにも好評ですよ。

【材 料】(4人分)

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>＜ハンバーグ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合挽きミンチ…… 200g ・水煮大豆…… 130g ・タマネギ…… 1/2個 ・シイタケ…… 3枚 ・ピーマン…… 1個 ・卵…… 2個 ・パン粉…… 大さじ7 | <ul style="list-style-type: none"> ・塩コショウ…… 適量 ・コンソメ顆粒…ひとつまみ ・サラダ油…… 適量 ・酒…… 大さじ2 <p>＜ソース＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケチャップ…… 大さじ4 ・ソース…… 大さじ4 ・醤油…… 大さじ1 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

【作り方】

- ①タマネギ、シイタケ、ピーマンをみじん切りにし、耐熱容器に入れふんわりラップをして、電子レンジ(600W)で3分半加熱する。平皿に移し、冷ましておく。
- ②水煮大豆をしっかりとしりつぶす。
- ③ボウルに②の大豆、合挽きミンチ、パン粉、①の野菜、卵、塩コショウ、コンソメ顆粒を入れ、ねばりが出るまでよく混ぜる。水分が多い場合はさらにパン粉を加え調節する。
- ④4等分にし、小判型に形を整える。
- ⑤フライパンにサラダ油を熱し、強めの中火で程よい焦げ目がつくまで焼く。ひっくり返して、酒を加え、フタをして弱めの中火で3分蒸し焼きにする。
- ⑥ハンバーグを少し押しつけて白い肉汁が出れば完成。
- ⑦ソースを作る。ハンバーグを焼いたそのままのフライパンで、ソースの材料をすべて入れ、軽く煮詰めて出来上がり。



鹿島支部
今月の料理人
 中村 幸子 さん (左)
 井上 道子 さん (中央)
 木村 幸子 さん (右)



大豆の割合がひき肉に対して多すぎず少なすぎないことが大切です。季節に合わせ、好みの野菜を入れてアレンジしてみてください。

「毎号各地の産直が紹介されていますが、私は産直めぐりを楽しみの一つとしています。地域の特産、旬のもの、工夫された加工品、日ごろの料理の参考に役立っています。多量の不揃い、虫食いがあってもいいので、新鮮で安全であることを願っています。」(P.さん)

「健康散歩の大豆パワーを読んだ栄養価が高いことがよくわかりました。日頃納豆、豆腐、油揚げ、煮豆をよく食べているので、改めてこれからも食べるように心がけようという思いを強くしました。」(S.K.さん)

裏表紙の『しまねうれしび』にもあつこ料理が載っていたので4種類すべて作ろうと思います。」(S.K.さん)

「松江に伝わるふるさと料理」2月号はあつこ。おいしく食べて大好きですがほとんど和え物にしていました。」

「松江に伝わるふるさと料理」2月号はあつこ。おいしく食べて大好きですがほとんど和え物にしていました。」



お便りコーナー

サン・サン料理教室 中止のお知らせ

サンサン料理教室を3月31日(火)、4月7日(火)に開催することとしておりましたが、政府の新型コロナウイルスの対応等を踏まえ、やむなく中止することといたしました。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。今後の料理教室については、新型コロナウイルスの収束状況を踏まえつつ、改めて開催をご案内いたします。

JA共済

JAの自動車共済がさらに！

パワーアップ！

掛金がよりお得に

保障がより充実

NEW
新しい車が事故で大破!!
そんなとき
新車に買い替えられる
保障ができました

新車割引の
期間を拡大します!
13ヶ月→49ヶ月へ

新規ご加入時の
(6、7等級)掛金が
さらにお得に!

JA共済キャラクター
浜辺 美波

お問い合わせ：くびき統括支店 共済課 TEL：55-3023
※割引の適用・支払内容については条件によって異なります

JA共済の保障と共済掛金を
ぜひ見積りでご実感してください!

今なら
2020年
3月末まで
3UPキャンペーンに応募して、
素敵な賞品が当たるチャンス!

1UP賞
JAしまね
特産品

2UP賞
ドライブ
レコーダー

3UP賞
ホテル玉泉
クーポン
3万円分

他社にご加入の方へ!

現在ご加入の証券を
ご提出いただいた方へ
素敵なプレゼントを
お渡しします!

※数には限りがあります

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

19320320234

だんだん営農塾

農業を始めたい人募集!

だんだん営農塾実行委員会では、新規就農・帰農希望者を対象とした農業の基礎知識・技術を学ぶ営農塾を開講します。基礎講座のほかに、露地野菜の王様・中海干拓ブランド野菜の「キャベツ」を実際に栽培しながら、農業について学んでみませんか。

2020年
6月2日(火)開講

主催/だんだん営農塾実行委員会(島根県、松江市、JAしまねくびき地区本部、松江地域再生協議会などで構成する協議会です)

キャベツコース	
●講座内容	中海干拓地で実際に栽培しながら技術を学びます。収穫期間の11月～2月は月4回程度講義を開催します。
●開催期間	2020年6月～2021年3月
●定員	5名
●経費	1人 50,000円
●応募資格	将来松江市内で就農を予定している人
●応募方法	JA各支店・店窓口にて据置き受講申込書に必要事項を記載し、郵送またはFAXにより下記に申し込んでください。
●申込期限	令和2年4月24日(金)
●受講生決定	応募多数により定員を上回った場合は、面接等により決定します。
●結果通知	受講の可否については応募者全員に通知します。
お問い合わせ・申込先	くびき地区本部 中海干拓事業所 電話52-6610 FAX52-6611

定年退職者

令和2年2月29日付



山田 弘樹



青山 毅彦



三原由美子



山崎 文雄

永年お世話になりありがとうございました

4月くびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
6	月	税務相談会	東出雲支店 (TEL: 52-2022) 10:00~12:00

くびき統括支店ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。
※4月の土曜営業日は11日、25日です。
◆お問い合わせは
☎0120-988-380

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店・店

くびき地区本部情報

くにびき地区本部 機構改革について

JAしまねは、管内人口の減少、地元経済の縮小、組合員の高齢化等により、急速に地域社会、地域農業が変化していくなかで、県内農業生産基盤が脆弱化するとともに、JAの組織基盤及び経営基盤の弱体化など、「3つの危機（農業・農村の危機、組織・事業・経営の危機、協同組合の危機）」に直面しています。

「3つの危機」の中でも、特に深刻なのが「組織・事業・経営の危機」です。これまでJAの経営を支えてきた信用・共済事業収益は、今後、大きく減少していく見通しとなっています。このような中、JAしまねでは「不断の経営改革」を通じて、安定的な事業利益を確保すべく、様々な改革に取り組んでいます。

今回の機構改革は、JAしまねが「3つの危機」に直面する中で、くにびき地区本部が収益を確保し経営の健全性を維持していくとともに、「自己改革（農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化）」の実現と「将来に渡って組合員の皆様に支持され頼りにされる地区本部」を目指し行います。

そのために、全事業部門の効率化・集約化による「費用削減」をすすめ、体制整備に取り組む必要があり、組織基盤・経営基盤強化をはかってまいります。

1. 信用・共済事業体制及びふれあい店・中原店の見直し（3月1日）

(1) 「くにびき地区本部 金融共済部」を廃止し「くにびき統括支店」を設置。

本店・地区本部間の「重複業務の解消」をすすめるため、令和元年5月10日「JAしまね理事会決定」に基づき、「くにびき統括支店」を設置し、地区本部 金融共済部の一部機能を本店へ移管します。また、業務の効率化・集約化をはかるため、融資課を金融課へ統合しました。

(2) 「ふれあい店」及び「中原店」を「無人化」。

「費用の削減」「業務の効率化・集約化」をすすめるため、ふれあい店・中原店を「無人化」しました。各店舗で対応していた「取次・受付業務」は、今後、支店窓口・渉外体制を充実させ補完します。中原店で対応していた業務は乃木支店へ移管しました。また、営農関係の書類については「ポスト」を介し対応します。そして、「無人化」後の店舗の有効活用について、今後検討します。

2. 移動金融購買車の見直し（2月27日）

(1) 移動金融購買車「サンサン号」の運行を終了。

平成20年から、移動金融購買車「サンサン号」の運行を開始してきましたが、「車両の老朽化」及び「利用者の減少」といった状況を踏まえ、令和2年2月27日をもって廃止しました。なお、運行終了後の「信用窓口」利用者の皆様には「支店窓口・渉外体制の充実」等により、その機能を補完します。

3. 営農指導体制及びグリーンショップ運営体制の見直し

(1) 営農指導課と米穀畜産課を統合し「指導販売課」を設置。(3月1日)

「指導事業」及び「販売事業」を一体的に取り組む「営農指導体制」の確立を図るため、「営農指導課」と「米穀畜産課」を統合し、新たに「指導販売課」を設置しました。これにより、販売先のニーズに対応し、農畜産物の指導から販売までのコーディネート機能を発揮する「提案型指導」を実施し「営農指導体制」の強化を図ります。

(2) 中海干拓事業所とグリーンショップ東出雲を統合。(3月1日)

中海干拓における特産物の伸長に特化した「営農指導」「生産資材」の連携を強化するため、「中海干拓事業所」と「グリーンショップ東出雲」を統合し、「費用の削減」と「指導と販売・購買が一体となった事業展開」を図ります。

(3) グリーンショップに定休日を設定し営業時間を変更。(3月1日、7月1日)

グリーンショップの営業形態を見直し、利用者の実態に合わせた運営（営業日・営業時間の短縮）とすることで「費用の削減」に取り組み、かつ、組合員・利用者の利便性を確保するため、「定期配送」及び営農指導員の「購買品供給体制」の拡充を図ります。

(4) グリーンショップ「ふるえ」「やくも」を改装。(6月～7月予定)

現在、グリーンショップふるえ・やくもでは、産直用切り花を取り扱っていますが、隣接するAコープの店舗の一部を改装し「産直コーナー」と併設した販売形態へ変更します。これにより、切り花の販売時間が延長され「販売機会」が増加するとともに、外気（温冷）による商品の劣化を緩和し販売促進を図ります。

なお、グリーンショップふるえで展開してきた「花部門（フラワーアレンジメント等）」については、店舗改装後に取り扱いを終了といたします。

4. 福祉事業の廃止及び生活福祉部の見直し

(1) 福祉事業を廃止。(2月29日)

福祉事業については、有資格者不足等により12月末で利用者の受入を終了し、令和2年2月末に事業を廃止しました。

(2) 生活福祉部を廃止し生活総合課・葬祭課を営農経済部へ移管。(3月1日)

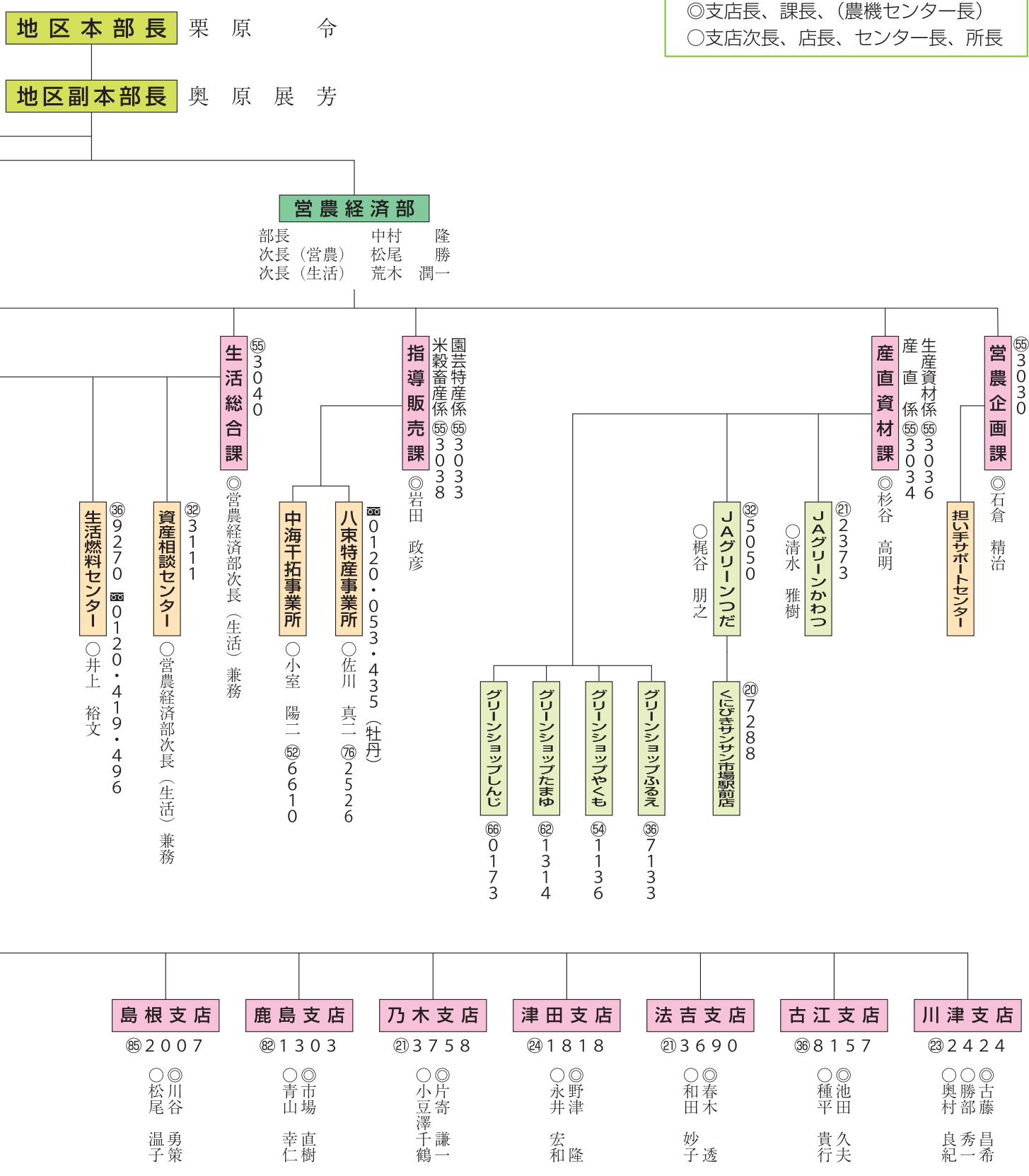
福祉事業の廃止に伴い、残る2課（生活総合課、葬祭課）は営農経済部へ移管しました。営農経済部に「生活事業担当」の次長を新たに設置し、円滑な事業運営の継続を図ります。

5. 総務管理部門の体制の見直し(3月1日)

(1) ふれあい課の業務を総務課へ移管。

総務管理部門の業務について、本店と地区本部総務課の一部「重複業務の解消」に取り組むなかで、さらに効率化・集約化をはかるため、ふれあい課の業務である「くらしの活動」を総務課へ移管しました。

- ・「くにびき地区本部 金融共済部」を廃止し「くにびき統括支店」を設置。
- ・「ふれあい店」及び「中原店」を「無人化」。
- ・営農指導課と米穀畜産課を統合し「指導販売課」を設置。
- ・中海干拓事業所とグリーンショップ東出雲を統合。
- ・福祉事業を廃止。
- ・生活福祉部を廃止し生活総合課・葬祭課を営農経済部へ移管。
- ・ふれあい課の業務を総務課へ移管。



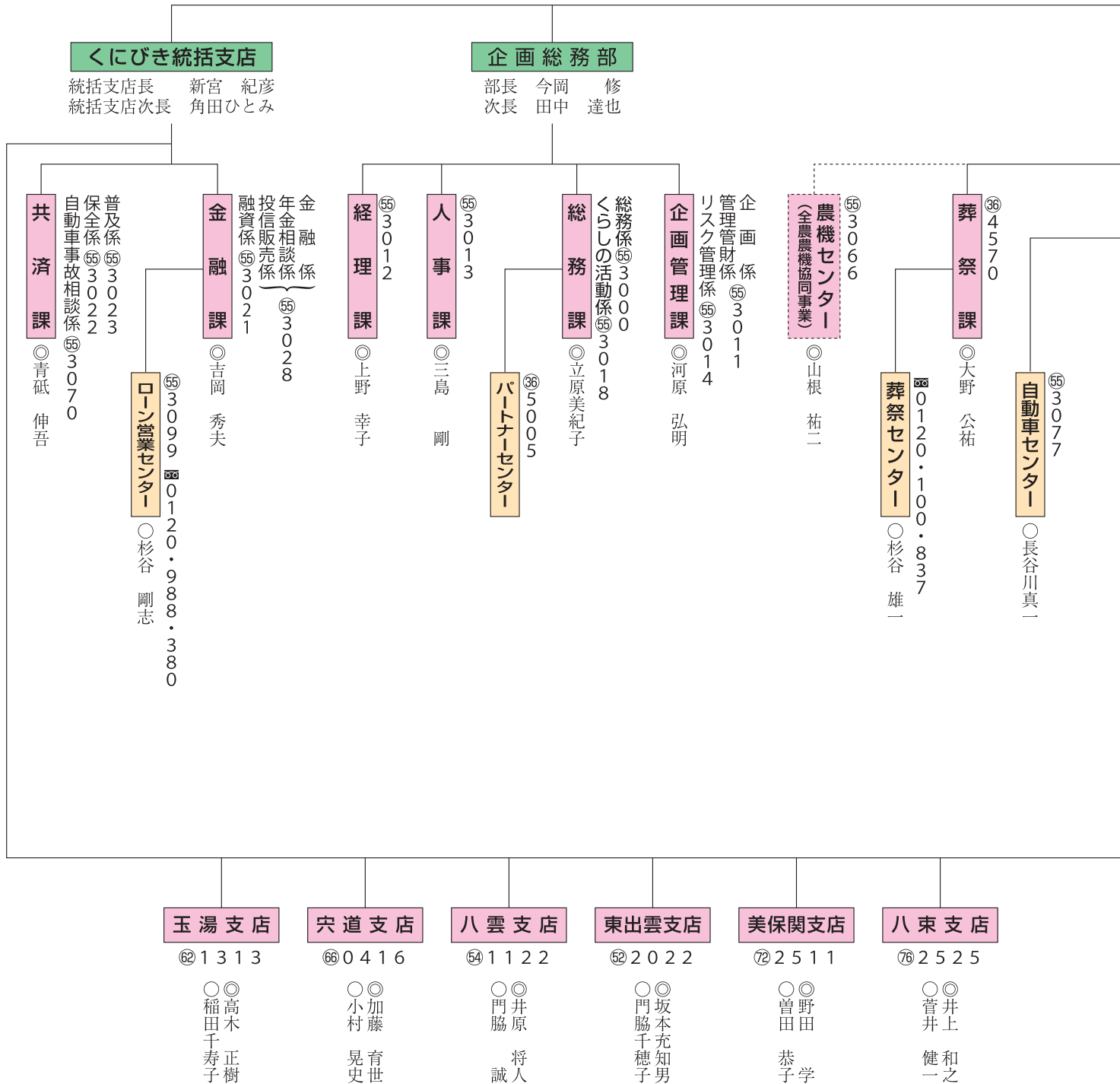
◎支店長、課長、(農機センター長)
 ○支店次長、店長、センター長、所長

くにびき地区本部 機構図

令和2年3月1日現在

令和2年3月1日付で、機構改革と定期人事異動を行いました。機構図及び電話番号は次の通りです。
全役職員配置は、4月号に掲載します。

統括部長（企画総務部長兼務）



色鮮やかなサラダを楽しむ リーフレタス

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

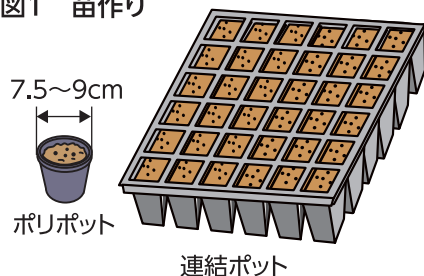
レタスの仲間の結球しないタイプで、和名をチリメンチシャといい、赤葉品種はサニーレタスの名でもおなじみです。さまざまな品種があり、カラフルなサラダが楽しめます。

【品種】 葉が赤い「レッドファイヤー」(タキイ種苗)、「レッドウェーブ」(サカタのタネ)、とう立ちの遅い「晩抽レッドファイヤー」(タキイ種苗)、緑の「グリーンウェーブ」(タキイ種苗)などがお薦めです。焼き肉を包んで食べる「チマサンチュ(青葉種)」(タキイ種苗)も家庭菜園向きです。

【栽培期間】 発芽と成長の適温は15~20度なので、夏と冬の栽培は困難です。また、5~6月の長日期(1日のうち昼の時間が長い季節)は花芽ができて、とう立ちしやすくなります。そのため、種まき適期は3~4月と9月です。

【苗作り】 小型ポリポットや連結ポットに1カ所4~5粒をまき、その後間引きして本葉4~5枚の苗を作ります。この種は好光性なので、暗黒下では発芽しにくい性質があり、種には土を薄く掛けます(図1)。まいたら新聞紙で覆い、その上から灌水(かんすい)すると、土の乾きも少なく、強い日差しからも守られます。

図1 苗作り



【畑の準備】 幅80~90cmの栽培床に1平方m当たり苦土石灰100gをまき、土とよく混ぜておきます。植え付けの1週間前に、元肥として化成肥料(N:P:K=10:10:10%)100g程度と堆肥2~3kgを施します(図2)。平畝を作り、黒のポリマルチを張ります(図3)。リーフレタスは葉の間に土が入りやすいので、ポリマルチをして、葉が汚れないようにしましょう。

【植え付け】 条間、株間とも25~30cmを取れば、300gほどの大株になります。株間を15cm程度にして小株から収穫を始めることもできます(図4)。

【管理】 生育期間が短いので追肥は不要です。また、アブラムシなどが発生しますが、比較的病害虫の少ない野菜です。

図2 施肥・耕うん

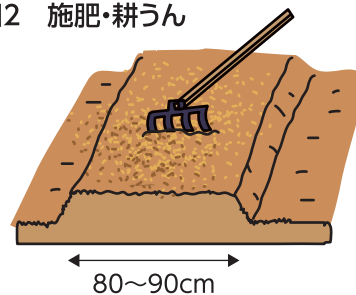


図3 マルチ張り

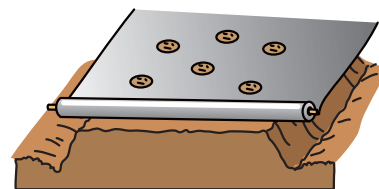
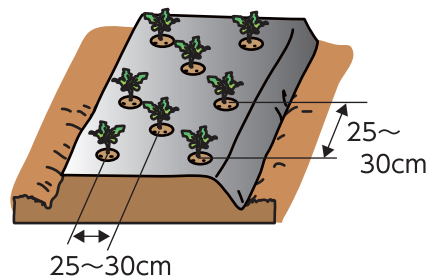


図4 植え付け



【収穫】 リーフレタスは若取りがおいしいので、利用に応じて順次収穫します。下葉をかき取りながら、長く収穫を楽しんでも良いでしょう(図5)。

図5 収穫



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

信用手数料変更のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

令和2年4月1日(水)から、手数料を変更させていただきます。

当JAでは今後とも、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

変更内容

◆ (変更後) 為替手数料 (1件あたり/消費税含む)

種類	お支払方法	振込金額	当JAあて		系統金融機関あて		他行あて
			同一店舗内あて	他店舗あて	県内	県外	
振込手数料	窓口 (電信・文書)	貯金口座からの振替	無料	5万円未満	110円	330円	550円
		5万円以上		330円	550円	770円	
	現金	5万円未満		330円	550円	770円	
		5万円以上		550円	770円	990円	
	ネットバンク	5万円未満		無料	110円	220円	
		5万円以上					

- ◇振込手数料のうち当JAの他店舗あて振込および系統金融機関あての振込、他行あての現金振込の手数料を変更いたします。
- ◇併せて、ネットバンクでの5万円以上の他行あて振込手数料を変更いたします。

◆ (新設) 媒体持込手数料 (1件あたり/消費税含む)

媒体持込手数料 (給与振込・総合振込・口座振替)	電子媒体	無料
		帳票 (※1)

◇給与振込・総合振込・口座振替の媒体持込手数料を新たに設定いたします。

(※1) JA所定の振込依頼書 (単票、連記式、登録式) は媒体持込手数料の対象から除きます。

◆ (新設) 訂正手数料 (1件あたり/消費税含む)

組戻・訂正手数料 (振込・送金・代金取立)	880円
-----------------------	------

◇為替取引における訂正手数料を新たに設定いたします。

※手数料については、店頭もしくは、JAしまねホームページ掲載の「信用手数料一覧」でもご確認いただけます。



JAしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

おさいふカード 会員募集中!! **優待割引**のお知らせ

JAしまね×洋服の青山・はるやま



店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 〈洋服の青山〉松江店・島根 斐川店・出雲 浜山通店・浜田店・益田店・米子本店・三次店
 〈はるやま〉松江店・島根 三刀屋店・出雲 店・島根 大田店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。 ※洋服の青山ではAOYAMAタイアップカード入会(入会無料)が必要となります。

JAしまね お問い合わせ / 本店経済部 TEL:0853-25-8907

いもぼたもち



●材料 (10個分)

里芋 (又は長芋) …… 150g	小豆あん…………… 適量
米…………… 1カップ	きなこ…………… 適量
水…………… 1.2カップ	
塩…………… 小さじ1/2	

●作り方

- ①里芋は皮をむき、2cmぐらいに切る。
- ②炊飯器に研いだ米、水、塩、里芋を入れて炊く。
- ③炊き上がったらマッシャーか木杓子で里芋の形がなくなるまでよくつく。
- ④丸めて10等分にして、小豆あんまたは、きなこをつける。



もち米がなくても作れるおいしいぼた餅です。芋が入っていることは気が付かれませんが、お彼岸に作ってみませんか。

パエリア



●材料 (5人前)

米…………… 1カップと半分	水…………… 4カップと3/4
サフラン(あれば)… 小さじ1/3	トマトペースト… 大さじ1(1袋)
鶏肉…………… 1枚(200g)	にんにく…………… 1かけ
えび…………… 5~6尾	塩…………… 小さじ1/2
あさり…………… 8~10個	コショウ…………… 少々
玉ねぎ…………… 1/4玉	コンソメ…………… 1個
パプリカ…………… 1/2個	レモン…………… 1個
プチトマト…………… 6個	オリーブ油…………… 大さじ2

●作り方

- ①えびは尾を残して殻をむく。
- ②鶏肉は大きめな一口大に切る。
- ③あさは洗う。
- ④にんにくと玉ねぎはみじん切り。
- ⑤パプリカは1cm幅に切り、プチトマトは半分に切る。
- ⑥サフランは水大さじ1~2につけて色を出す。
- ⑦ホットプレート(フライパン)にオリーブ油を入れ、鶏肉、えびを焼いて取り出し、塩、コショウをふる。
- ⑧⑦のホットプレートにオリーブ油を足し、④を入れ炒め、⑥を入れ、トマトペースト、コンソメ、塩、コショウで味を整え、米と水を入れる。
- ⑨2~3回混ぜて、米を広げ、鶏肉、えび、パプリカ、プチトマトを綺麗に入れる。
- ⑩フタをして強火で約10分、弱火で約10分煮る。水分がほとんどなくなる前にあさりを入れ、ホットプレートの底に焦げが薄く張り付くくらいまで水分を取る。
- ⑪くし形に切ったレモンを乗せる。

スペイン料理の「パエリア」です。ホットプレートで手軽に簡単にパエリアが作れます。パエリアは見た目が華やかなのでお祝いやおもてなしにぴったりです。上に乗せる具は好きな物に変えられます。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は邑智郡邑南町出羽地域の「出羽ひな街道」です。3月中旬から3月末までの期間、出羽の通りに面した民家の庭、軒下、縁側には数多くの美しい雛人形が飾られ、春の陽気のもと散策を楽しまれます。スタンプラリーや周辺飲食店の期間限定雛祭りメニューなど、地域をあげたイベントとして、春の風物詩となっています。

注：新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今年は中止となりました。

編集後記

「JALしまねびより」は来月4月号からリニューアルします。表紙絵で誌面を彩っていただきました野々村直通先生、おいしいレシピをご提供いただきました土井小百合先生には、これまでの感謝を申し上げるとともに、これからのご活躍をお祈りいたします。俳句・川柳コーナーなど新企画満載でお届けする新しい「JALしまねびより」にご期待ください。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

